

令和3年度「外国語科・外国語活動の資質・能力」表

※□は取り扱い学年、■は定着学年を示す。

内 容		学習指導要領との関連内容		3年	4年	5年	6年	
		3・4年	5・6年					
外国語科・外国語活動の 学びに向かう力、人間性等	ア	外国語の音声や文字、基本的な表現に慣れ親しもうとする。	全般	全般	□	□	■	■
	イ	よりよいコミュニケーションの仕方を意識して、進んで話したり聞いたりしようとする。	全般	聞くこと 話すこと[やり取り]	□	□	■	■
	ウ	外国語の文字や基本的な文のしくみに関心をもち、進んで書こうとする。		書くこと			■	■
	エ	慣れ親しんだ音声と文字を関連させて、基本的な表現・語彙からその意味を推測しながら読もうとする。		読むこと			■	■
	オ	慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。	全般	全般	□	□	■	■

各領域の付けたい力 聞くこと	1	ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取る。	(1)ア		□	□	■	■
	2	ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	(1)ア				■	■
	3	ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かる。	(1)イ		□	□	■	■
	4	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	(1)イ				■	■
	5	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる。	(1)ウ		□	□	■	■
	6	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	(1)ウ				■	■
各領域の付けたい力 読むこと	7	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	(2)ア				■	■
	8	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	(2)イ				■	■
各領域の付けたい力 話すこと[やり取り]	9	基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。	(2)ア		□	□	■	■
	10	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。	(3)ア				■	■
	11	自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。	(2)イ		□	□	■	■
	12	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	(3)イ				■	■
	13	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。	(2)ウ		□	□	■	■
	14	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	(3)ウ				■	■
各領域の付けたい力 話すこと[発表]	15	身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)ア		□	□	■	■
	16	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	(4)ア				■	■
	17	自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)イ		□	□	■	■
	18	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	(4)イ				■	■
	19	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(3)ウ		□	□	■	■
	20	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	(4)ウ				■	■
各領域の付けたい力 書くこと	21	大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	(5)ア				■	■
	22	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	(5)イ				■	■

<外国語科・外国語活動>の学びを深める「見方・考え方」

- a よりよいコミュニケーションのために「言語」に着目し、外国語の音声、文字、単語、表現、語順などに慣れ親しむ。
- b よりよいコミュニケーションのために「文化理解」に着目し、外国語や相手、それらの背景にある文化を尊重し、相手に配慮しながら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
- c よりよいコミュニケーションのために「コミュニケーション方略」に着目し、言語の働き・役割を理解するとともに、非言語も含めた伝え方・聞き方の工夫をしようとする。

<各領域の学びを深める「見方・考え方」>

- d 聞くこと 相手が伝えようとする話の内容に着目して、類推しながら大切な事柄が何かを考えて聞く。
- e 読むこと アルファベットの並びに着目して、音声で慣れ親しんだ基本表現や語句の意味が分かり、発音する。
- f 話すこと[やり取り] 話題の内容や相手の表情などに着目して、基本的な表現や自分の知る範囲の表現、伝え方の工夫を組み合わせを考えて話す。
- g 話すこと[発表] 話題の内容に着目して、伝えたいことを整理して基本的な表現や伝え方の工夫を組み合わせで話す。
- h 書くこと 例文や語順に着目して、音声で慣れ親しんだ基本表現や語句を組み合わせで書く。